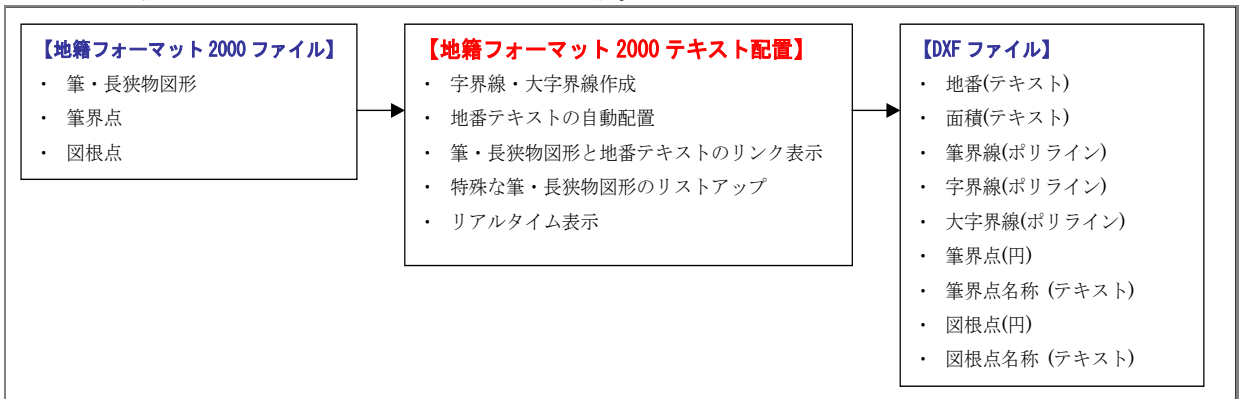


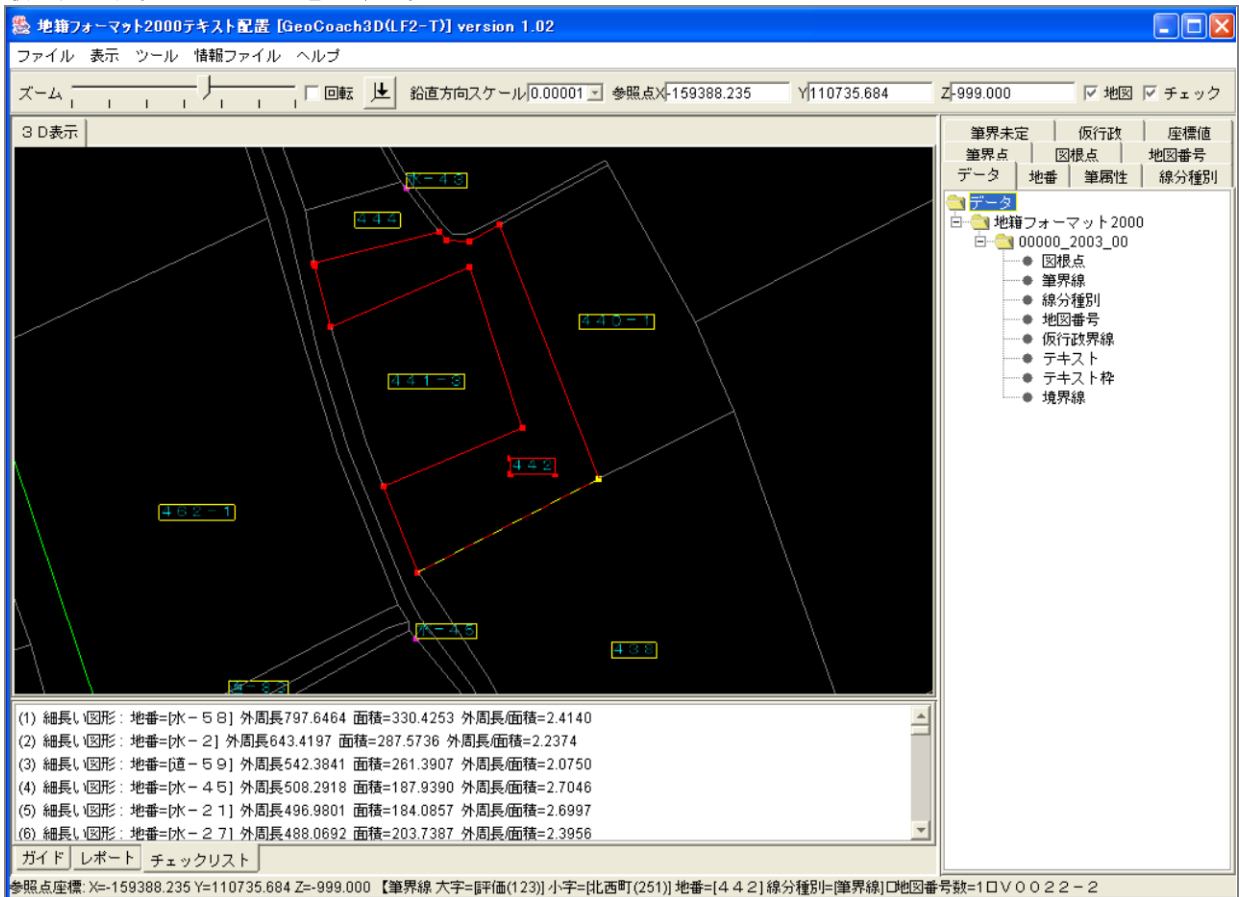
地籍フォーマット 2000 テキスト配置 (バージョン 6.0.3) 操作説明書

2010/05/31
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

地籍フォーマット 2000 テキスト配置は地籍フォーマット 2000 ファイルについて、筆・長狭物図形の地番および大字小字のテキストを自動配置するアプリケーションです。リアルタイム表示、特殊な形状の筆・長狭物図形のリストアップ、筆・長狭物図形と地番テキストをリンクしてハイライトするなど、自動配置の結果を確認するための機能を持っています。また、字界線・大字界線を作成し、地籍フォーマット 2000 ファイルから DXF ファイルへのコンバータとしても使えます。



最も広い位置にテキストを自動配置



【インストール】

インストール説明書(GeoCoach3D-1-install.pdf)を参照してください。

【起動】

Windows のスタートメニューのプログラムから、[GeoCoachSystems]-[地籍フォーマット 2000 テキスト配置]で起動します。

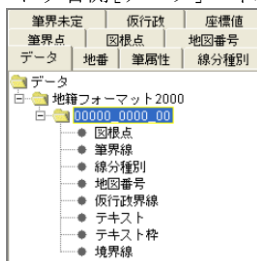
【終了】

[ファイル]メニューの[終了]で、終了します。

【地籍フォーマット 2000 ファイルを開く】

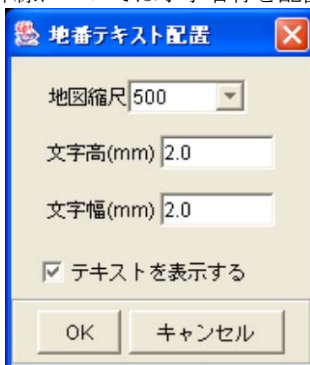
[ファイル]メニューの[参照]-[参照： 地籍フォーマット 2000...]を選択し、ファイル選択ダイアログで地区別情報ファイル(拡張子.hed)を選択してください。

- ・ 地区別情報ファイル、筆界点情報ファイル、筆・長狭物情報ファイル、図根点等情報ファイルなど一連のファイルをリードします。
- ・ ファイルのリードが終わると、地図を[3D 表示]パネルに表示します。地図データを囲む直方体を線で表示します。
- ・ ファイルリード直後に字界線、大字界線を作成し表示します。
- ・ ウィンドウ右側[データ]パネルにファイル名がついたノードを追加します。ここで表示非表示などが指定できます。

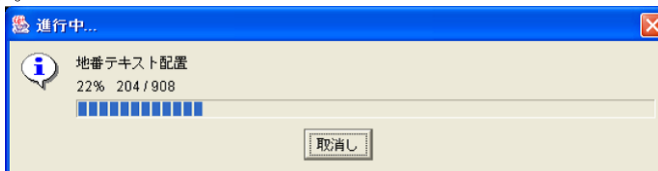


【地番テキスト配置】

メニュー[ツール]-[地番テキスト配置]で筆・長狭物の地番テキストを自動配置します。また、字界線については小字名称、大字界線については小字名称を配置します。

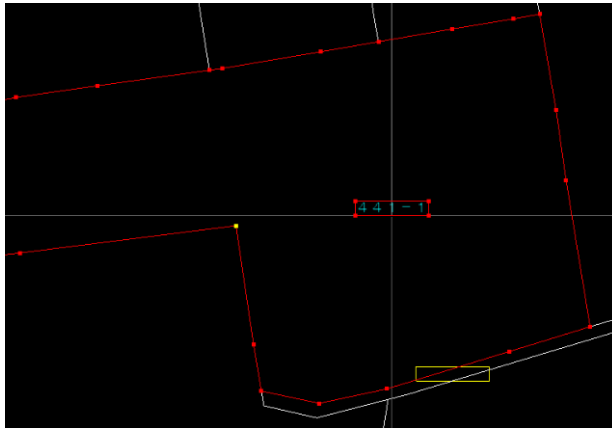


ダイアログでは印刷時の文字高文字幅を想定しています。ミリメートル単位で指定してください。地図縮尺に応じて実座標での高さや幅に換算し計算、表示します。OK ボタンで自動配置を開始し、進行状況を表示します。約数十秒から数分かかります。



地番のテキストは、筆の中で最も広い場所に配置します。長狭物の場合も、幅が最も広い場所に配置します。もしテキスト全体が筆・長狭物図形の中に入りきれない場合、テキストの原点(左下角)が必ず中に入るように配置します。実行後、地番を囲む矩形を表示します。矩形を選択することで、対応する筆・長狭物図形を選択状態にし、矩形と一緒にハイライトします。

【テキストを表示する】 計算したテキストをすべて表示します。システムの文字表示機能の制約で、全ての地番テキストを表示するためには大量のメモリを要し、場合によってメモリ不足を起こすため、デフォルトではオフとなっています。テキストを表示していない状態で、選択された筆・長狭物図形についてはその時点でテキストを表示します。また、地番の文字表示幅と矩形枠の幅が一致しないことがありますが、矩形枠が文字位置を正確に表しています。



【地番テキスト配置結果】

自動配置後、[チェックリスト]パネルに特殊な形状の筆・長狭物図形をリストアップします。

| |
|--|
| (1) 細長い図形: 地番=[水-58] 外周長797.6464 面積=330.4253 外周長/面積=2.4140 |
| (2) 細長い図形: 地番=[水-2] 外周長643.4197 面積=287.5736 外周長/面積=2.2374 |
| (3) 細長い図形: 地番=[道-59] 外周長542.3841 面積=261.3907 外周長/面積=2.0750 |
| (4) 細長い図形: 地番=[水-45] 外周長508.2918 面積=187.9390 外周長/面積=2.7046 |
| (5) 細長い図形: 地番=[水-21] 外周長496.9801 面積=184.0857 外周長/面積=2.6997 |
| (6) 細長い図形: 地番=[水-27] 外周長488.0692 面積=203.7387 外周長/面積=2.3956 |

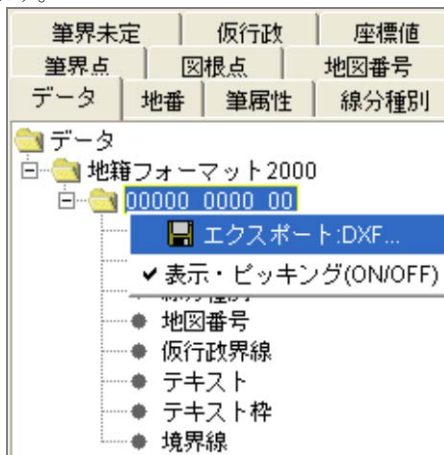
ガイド レポート チェックリスト

- 面積が100平方cm以下の筆・長狭物図形。ほとんど線になっている筆・長狭物図形です。
- 長狭物: 里道や水路と思われる筆・長狭物図形。外周の長さとの面積の比率が2.0以上で、外周の長さが20m以上の筆・長狭物図形をリストアップしています。外周の長さが長い順から表示します。
- 重なった筆・長狭物図形。同じ形状の筆・長狭物図形がある場合リストアップします。それぞれの地番の内容が同じ位置に表示されます。筆・長狭物図形が重なっている場合、同じ位置でのクリックを繰り返すことで、選択される筆・長狭物図形が切り替わっていきます。
- 他の筆・長狭物図形を含む筆・長狭物図形。含んでいる筆・長狭物図形の数も表示します。

このリストの項目をクリックすると、該当する筆・長狭物図形に地番テキストを画面の中央に表示します。また、筆・長狭物図形を選択状態にしてハイライトしますので、状況が容易に確認できます。

【DXF 保存】

データパネルで調査地区名を選択し、ポップアップメニュー[エクスポート: DXF]でDXFファイル(AutoCAD Release12)を保存します。

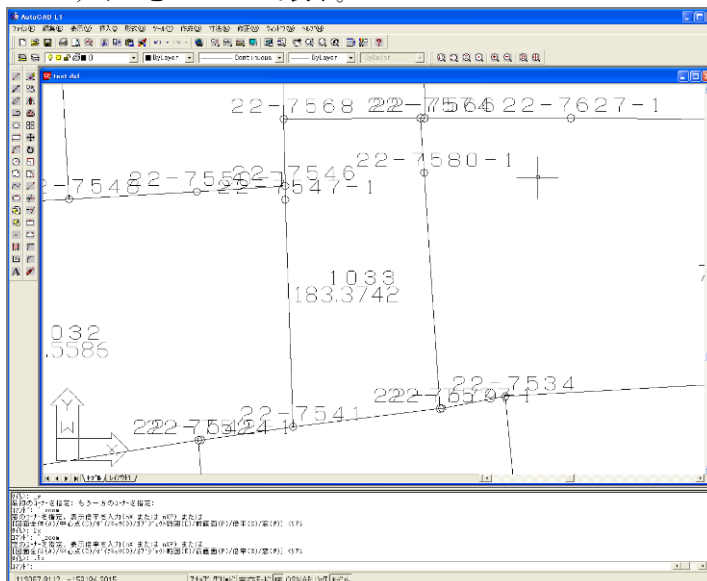


[地番テキスト配置]実行時の地図縮尺、文字高、文字幅をダイアログにセットします。[保存]ボタンでDXFファイルを保存します。地番テキスト配置がなされていなくても、DXF出力できるので、DXFへのコンバータとして使えます。図根点に標高値が設定されている場合、DXFにもそのまま標高値を出力します。



| 項目 | エンティティ | 出力内容 |
|-------|--------|--|
| 筆界線 | ポリライン | 全ての筆・長狭物図形の線。ポリラインに「閉じる」をセットする。 |
| 地番 | テキスト | 筆・長狭物図形の地番。左下角は必ず筆・長狭物図形の中に入る。文字幅が文字高と異なる場合「幅尺度」をセットする。文字スタイルはデフォルトの STANDARD。 |
| 地番枠 | ポリライン | 地番を囲む矩形の枠。 |
| 面積 | テキスト | 筆・長狭物図形の面積。小数点以下4桁。地番の下側に中心を合わせて配置する。 |
| 字界線 | ポリライン | ポリラインに「閉じる」をセットする。 |
| 小字 | テキスト | 小字名称。 |
| 大字界線 | ポリライン | ポリラインに「閉じる」をセットする。 |
| 大字 | テキスト | 大字名称。 |
| 筆界点 | 円 | 全ての筆界点について、指定された半径の円を出力する。 |
| 筆界点名称 | テキスト | 筆界点名称を、筆界点の円の上側に出力する。 |
| 図根点 | 円 | 全ての図根点について、指定された半径の円を出力する。 |
| 図根点名称 | テキスト | 図根点名称を、図根点の円の上側に出力する。 |

DXF ファイルを AutoCAD で表示。



【表示色】

3Dパネルで線や点を以下の色で表示します。

| | |
|-------|-----|
| 筆界線 | 白 |
| 字界線 | 緑 |
| 大字界線 | シアン |
| テキスト | シアン |
| テキスト枠 | 黄色 |
| 図根点 | 白 |

【その他の操作】

表示操作やその他の操作についてはフリーソフト[地籍フォーマット 2000 ビューF]の操作説明書を参照してください。
[地籍フォーマット 2000 ビューF]がベースになっています。

<http://www.geocoach.jp/download.html>

【未処理項目】

以下の問題が判明しておりますが、未対応の状態です。

- AutoCAD で DXF を開いてすぐに表示されません。オブジェクト範囲ズーム、図面全体ズームで表示されます。
- 3D パネル表示で、地番テキストの矩形の後ろになる線や点が表示されません。
- 座標値パネルの表の一部が表示されないことがあります。タブを切り替えることで正常に表示します。
- 地籍フォーマット 2000 テキスト配置を複数個立ち上げると、3D パネルに表示されないことがあります。

【更新記録】

6.0.3 2010/05/31

- Windos7 と Java6 に対応しました